

平成23年度 第2回
第5期 熊毛地区地域審議会
会 議 録

日 時：平成24年1月27日（金）

場 所：ゆめプラザ熊毛

（熊毛公民館2階 大会議室）

【会 議 次 第】

- 1 開会
- 2 市民憲章唱和
- 3 あいさつ
- 4 議事
 - (1) 後期基本計画（案）への意見交換
 - 参考：周南市まちづくり総合計画後期基本計画の変更について
 - 参考：周南市まちづくり総合計画後期基本計画 新旧対応表
 - (2) 地域審議会の運営方針について
 - 資料3：第5期地域審議会の運営方針について（事務局案）
 - 資料4：第5期熊毛地区地域審議会 今後のスケジュール（案）
 - (3) 新市建設計画の進捗状況について
 - 資料1：新市建設計画の進捗状況について（参考資料）
 - 資料2：新市建設計画における主要ハード事業等の進捗状況
 - 資料5：新市建設計画における主要ハード事業等の進捗状況（熊毛分）
 - (4) その他
- 5 閉会

平成23年度第2回 第5期熊毛地区地域審議会 会議録

日 時	平成24年1月27日（金） 14時00分～15時00分
場 所	ゆめプラザ熊毛（熊毛公民館2階 大会議室）
出席者	・委員 13人（欠席2人） 齊藤由紀子、中村秀子、酒井隆行、川野玲子、升崎美彦、小松昭人、西田 仁、 佃 康宏、高橋幸枝、田村哲夫、村川哲夫、海田辰将、棚田敬治 ・事務局 8人 市長 木村健一郎 熊毛総合支所長 大宅英幸、熊毛総合支所次長 藤井義則、地域政策課長補 佐 山根卓彦、同課員 河谷康彦、同課員 末次美由記 企画課長補佐 坪金 誠、同課員 守重一史
資 料	・会議次第のとおり

会 議 議 事 録

1 開 会

2 市民憲章唱和

3 市長あいさつ

4 議事（要約）

(1)後期基本計画(案)への意見交換

事務局 (後期基本計画(案)を、参考資料に沿って、説明)

会長 ご質問はありませんか。考え方はわかりましたが、この考え方を基に何をどうするか、ということが諮り取れません。例えば2ページの安心・安全ふるさとを守るということについて、熊毛地域は何が一番ポイントで、これから何を取り組むということがあれば、わかりやすいと思うのですが、何かありますか。

事務局 総合計画は、市全体のまちづくりの方向性を定めていく考え方を表すもので、熊毛地域で何をするというような具体的なものを示す性格のものではないということをご承知いただきたいということがございます。具体的なものは、新年度の当初予算案の各事業の中で、お示しできるのではないかと考えています。

委員 8ページにある、コンベンションやツーリズムといった言葉を、分かりやすく書いた方がよいのではないかと思います。

事務局 注釈等については、最終案でお示しするという方向で考えたいと思います。コンベンションシティは、市長が就任当時から申し上げていることです。コンベンションは

会議という意味です。会議やスポーツイベントなどを通じて、市内外の人が市全域にお越しくださることが、経済や地域の活性化につながるということで、新たな箱ものを整備するのではなく、全国から多くの人がお越しいただけるような、ソフト面での環境整備に努めるという考えで、市長が常日頃申し上げているコンベンションシティを書いています。ツーリズムは、主に中山間地域に影響すると思いますが、具体的には、大津島などに小・中学生の修学旅行を誘致したり、体験交流のような形で自然体験ができる環境を整備したりという、位置づけです。

委員 6ページ第2章の1の、安心安全・ふるさとを守るプロジェクトの中で、将来を見据えた安心安全の確保に、防災教育の項目がないのは違和感があります。ここにある項目のうち、自主防災組織の育成以外は、すべてハードの整備に関する項目ではないかと思います。東日本大震災では、ソフト面のものが大事ということが浮き彫りになっています。阪神大震災や東日本大震災を教訓にするのであれば、ハードに偏りすぎているのではないかという気がします。熊毛地域は、ハードというよりはソフト面が大きく効いてくる地域だと思いますので、防災教育は必要ではないかと思います。東日本大震災で亡くなった人は高齢者が多く、小中学生の避難率は非常に高いです。小中学校では結構、防災教育がなされていると思います。大人を対象にした防災教育が、この中に入らないことに違和感があります。

事務局 ご指摘の点は非常に重要な案件だと考えています。災害時に対応した全市ネットワークの構築という項目の中に、そうしたことは入っておりますが、ご指摘がありました件を特出しするというのも含めて、最終調整を図っていきたいと思います。

委員 道路にヒビが入っていました。路盤が弱い場所が他にもあるのではないかと思います。地震対策、教育、防災関係も含めて、役所でも研究してほしいと思います。

事務局 対応策を含めて、検討したいと思います。

委員 学校施設の耐震化では、災害が来た時に建物の中にいる人を守るだけでなく、避難拠点としての機能の追求まで見据えて、改修をお願いしたいと思います。

事務局 市では、平成27年度を目途に、小中学校48校の耐震化率100パーセントをめざした、補修工事を予定しています。委員が言われたことについても視野に入れながら進めると思いますので、ご理解いただきますようよろしくお願いいたします。

会長 これまでの避難場所は、小学校の講堂だとか、一義的にしか決まっていないう気がします。例えば、三丘地区は島田川より低いところに小学校があり、そこが避難場所になっています。ケースごとに避難場所を分けしないと危ないという気がします。

委員 地区社協でアンケート調査をしたときに、避難場所を知らない人が約半数ありました。知っている人でも、避難場所が危険ではないかと不安を感じると聞いたことがあります。基本的なところが住民に認識されていないのではと思います。

委員 15ページの生活・産業基盤の整備に関することだと思うのですが、合併処理槽のことを知らない市民が多いように思うので、細やかに説明してほしいと思います。

事務局 担当課で、分かりやすい啓発をするように努めたいと思います。

会長 計画に関することで、意見がなければ、次に進みます。

(2) 地域審議会の運営方針について

事務局 (地域審議会の運営方針について、資料3、資料4に沿って説明)

会長 質問がないようでしたら、日程等は会を進めていく中で調整するというので、当面はお示ししている方針で進めてよろしいでしょうか。

委員全員 (了承)

(3) 新市建設計画の進捗状況について

事務局 (新市建設計画の進捗状況について、資料5に沿って説明)

委員 耐震というのは、どれくらいの震度を想定されているのでしょうか。

事務局 一般的には震度6です。

委員 震度6がきても倒れない建物ということですね。

委員 一概に震度だけで判断するわけにはいかないのですが、熊毛地域で懸念されるのは直下型だと思います。震度というよりも、震源地と、そこからの距離が重要になると思います。もちろん、耐震改修で基本的なことは、地震の時に絶対に倒れないというのが必須だと思います。想定されているのは震度6ということですので、震度6では建物に致命的な損傷はないというのが一般的な考え方です。ただし、それを超えるような場合は、被害もそれなりには出るかとは思いますが、少なくとも構造物の設計の観点からすると、いきなり壊れるのではなくて、徐々に壊れる。逃げる時間を確保するという観点で、おそらく耐震改修工事が行われておるかとは思いますが。

委員 過去どの程度の地震があったか、調べておられますか。

事務局 地震の程度は手元にありませんが、活断層は岩国断層というのが奥関屋と関屋の境あたりを国道2号と並行にあります。それと大河内断層というのが、総合支所の真下あたりから、下松市の来巻方面に向けてあります。この2つが有名な断層です。

委員 それらの地震に耐えられるほどの、耐震工事をするということですか。

事務局 そうです。

委員 「想定外」ということだけは無いように、検討してほしいと思います。

委員 未着手の項目について「今後検討」とありますが、優先度や進捗状況などで区分けして、検討される内容を具体的に示せないの难道うかと思います。

事務局 まとめということで簡潔にお示ししたのですが、これについても審議会で意見していただき、まとめていただければと思います。

委員 50番の下水道普及率の算出根拠を教えてください。

事務局 都市計画区域の中で、下水道を引く地区の戸数に対する割合ですが、資料に図面を付けていませんので、次回示したいと思います。

会長 事務局に確認ですが、審議会の最終目的は、3つの諮問について何を市長に提案するかということだと思いますが、資料5の中から項目を選ぶか、議論の中で新たに決めるか、ということによいでしょうか。

事務局 おっしゃった通りです。委員の皆さんで、たくさん意見していただき、最終的にまとめていただければと思います。

会長 これについて、意見はありませんか。

- 委員 東日本大震災以降、電気の問題があると思います。太陽熱や風などクリーンエネルギーの利用といったことは、考えられないでしょうかと思います。
- 事務局 官だけでなく、民の力があってこそ、進めていけることではないかと思います。この問題について、すぐに何かをするということは難しいかと思いますが、大きな問題ではあると思います。
- 委員 去年、小中学校の通学路で3件事故があったと聞いています。中学生と小学生の擦れ違いの事故が発生していますが、それらの対策は考えておられますか。
- 事務局 11番にあります、国道2号等の整備促進は、実施中の事業ということで、通学路の整備及び4車線化は国に要望していますが、実現していないのが実情です。事故も起こっていますので、事務局としても提言等ができればという思いはあります。
- 委員 できるだけ早く、設備的な対策をとっていただきたいと思います。
- 事務局 通学路だけでも、早めに整備をお願いしたいと思っています。
- 委員 未着手の事業について、審議会で、着手の可否を検討するのでしょうか。
- 事務局 未着手なので要望事項に入れようとか、推進してほしいとかといった話を、審議会で、していただくということです。
- 会長 早く進めてほしいとか、あえてペースは言わないとか、そういうイメージですか。
- 事務局 そうです。
- 委員 40番の合併記念公園化事業は、どういうことを考えられているのでしょうか。
- 事務局 計画策定当初は、合併をしたので旧2市2町に記念碑的な公園を作ろうと、具体的なものがないうちに、揚がったものです。
- 委員 これは、時間が経ち過ぎて、もうできないのではないかと思うのですが。「今後検討」となっていて、違和感があります。
- 事務局 それについては、別の場所で検討していますので、また皆さんにご披露できるかと思いますが、現時点で、お伝えできるのは「検討」ということです。
- 委員 定かな話ではないですが、合併後、教育にかける予算が少なくなったという話を聞きました。必要がないものを作るなら、教育に予算をまわされてはと思います。
- 事務局 企画課もここにおりますし、財政課にもよく伝えておきます。
- 会長 提言について、事務局からも案などがありましたら、お願いします。
- 事務局 たくさんの良い意見をいただきましたので、事務局でまとめさせていただいて、次回、絞り込みを皆さんにお願いできたらと思います。
- 委員全員 (了承)
- 会長 意見がなければ、次に進みます。

(4)その他

- 事務局 (次回の日程について案内)
- 会長 意見がなければ、閉会します。

5 閉 会